熊野垂迹神曼荼羅図（甲本）部分（和歌山県立博物館）

令和 4 年 11 月 30 日	
資　料　提　供	
担当課(室)	県立博物館
担当班･係	学芸課
担　当　者	学芸員　島田　和
電　　話	073-436-8684(学芸課)

カミとホトケ、交流する信仰の歴史

―県立博物館で企画展「きのくにの信仰―霊地がつなぐカミ・ホトケ―」を開催―

仏教の伝来、それは日本古来の「カミ」の信仰をもっていた人々にとって、新しい文化の流入でした。目に見えぬ「カミ」への崇拝と、「ホトケ」の姿を表現する仏教は、不思議と交ざり合い、豊かな信仰の世界を繰り広げていきます。

都からほど近くにありながら深い自然にとざされた、きのくに―和歌山県には、高野山や熊野三山をはじめ、各地に霊場が存在します。このたびの企画展では、県立博物館の所蔵品をはじめ、きのくにの信仰にまつわる資料を展示し、霊地で育まれた神仏習合の様相をたどります。

【展示構成】Ⅰ　カミとホトケの坐（いま）すところ／Ⅱ　カミとホトケが出逢う～仏教伝来～／
Ⅲ　カミとホトケを表す～神仏習合と本地垂迹～／Ⅳ　霊地がつなぐカミ・ホトケ
［展示資料：36 件 56 点　うち重要文化財 4 件、県指定文化財 4 件］
（※別添のちらし・展示資料目録・展示のみどころもご参照ください）*画像提供可

企画展「きのくにの信仰―霊地がつなぐカミ・ホトケ―」

＊会　期　令和 4（2022）年12月3日（土）～令和5年1月22日（日）（39日間）
午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

＊休館日　月曜日（1月9日（月・祝）は開館、10日（火）は休館）
年末年始（12月29日（木）～1月3日（火））

＊会　場　和歌山県立博物館 企画展示室

＊主　催　和歌山県立博物館

＊入館料　一般：280 円（230 円）、大学生：170 円（140 円）
（　）内は 20 名以上の団体料金
高校生以下・65 歳以上・障害者・県内在学中の外国人留学生は入館無料
第 1 日曜日（12 月 4 日(日)・1 月 8 日(日)）は、全ての方の入館料が無料になります。

＊関連行事　ミュージアム・トーク(展示解説)
12月4日（日）・12月24日（土）・1月8日（日）・1月14日（土）・1月22日（日）
いずれも13:30～14:30
※新型コロナウィルス感染症流行の状況により、中止となる場合があります。

＊担　当　和歌山県立博物館 学芸員 島田 和
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14　《和歌山城南側》
（TEL: 073-436-8684(学芸課直通)　E-Mail: admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp）

和歌山県立博物館　企画展「きのくにの信仰―霊地がつなぐカミ・ホトケ―」
展示のみどころ

①菩薩坐像　飛鳥時代・7世紀　極楽寺蔵（かつらぎ町）　重要文化財〔展示番号8〕

かつらぎ町滝の極楽寺本尊・如意輪観音坐像（江戸時代）の中に納められていた仏像です。銅造ですが、脚まわりの鋳肌が荒れており、かつて火災にあったことがうかがわれます。組んだ足を片膝にのせ、指を頬に当てるのは思惟の姿。細くしなやかな身体は朝鮮半島・三国時代の作例に見られるもので、仏教とともに伝来した請来像をもとに、日本で造像されたと考えられます。県内最古級の仏像として、重要文化財に指定されています。

②獅子・狛犬　桃山時代・16～17世紀　和歌山県立博物館蔵〔展示番号4〕

神社や寺院の境内を守る獅子・狛犬。クスノキの一木から丸々彫り出した一木造で、両像とも大きく口を開け、頭を高く上げて遠吠えをしているようです。たてがみや首の角度など、左右を同じデザインにしているのも重要な特徴です。奈良・東大寺の南大門で導入された中国（宋）風の石製獅子にはじまる奈良様に影響を受けている可能性があります。初公開。

③千手観音立像部材　奈良時代・8世紀　道成寺蔵（日高川町）〔展示番号7〕

道成寺の本堂に安置されている千手観音立像（重要文化財）の一部であった部材を公開。奈良時代に造られた仏像の指先を、じっくりとご覧いただけます。千手観音像本体の根幹部分には、大きなウロのあるクスノキを使っており、古代日本人の木への心性をものがたる作例。仕上げには木のくずを混ぜた漆を用い、やわらかな造形が見どころです。

④如意輪観音像　心窓常圓作　江戸時代・貞享4年（1687）　和歌山県立博物館蔵〔展示番号29〕

色とりどりの刺繍で表現された如意輪観音像。仏教の尊像である如意輪観音の上には大きく「熊野山」と書かれ、神仏習合の様相をよく示しています。台座の下には作者と制作年が記され、制作の背景が知られる点も貴重です。熊野信仰の中でもとりわけ如意輪観音と関わりが深い那智山に奉納されたものであると推測されます。今回の展覧会では、同じ作者による那智勝浦町・大泰寺所蔵の「熊野三所権現本地仏像」〔展示番号30〕とともにご紹介。精緻な刺繍で豊かな表情を描き出しています。